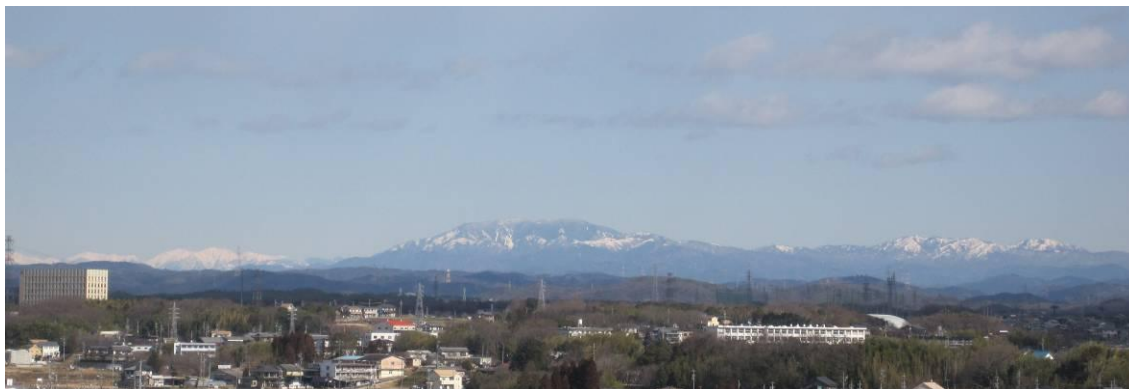


お鍬山 植物たより (H26. 2. 12)



寒い毎日が続きます。この寒さの中でも散歩は感動を見つける事はできます。

お鍬山もこの季節では、四季桜以外に咲いている花はありません。赤い実などをつけた草木も少なくなりましたが、展望台から見る山々は素晴らしいものです。好天気の日には、是非とも散歩のついでに立ち寄ってください。東北に恵那山を眼前に見ることができます。夏にはそれほどではないのですが、いまの時期には雪でうっすらと白くなっており、またはっきりと見ることのできる雪山の南アルプスをバックに控えているからか余計に引き立って見えます。

お鍬山の植物も、まだ実をつけているものもあります。南側の遊歩道沿いのクチナシです。

(南北の谷筋にも散見しています) 6月には可憐な白い花を咲かせますが、いまだに愛嬌のある、一見ロケットのように見える黄赤色の実をつけています。アオキの実はようやく赤くなってきました。アオキは遊歩道の各所でみることができます。斑入りの葉や黄色の実のものも見かけます。これら園芸種を見ると云う事は、どこかの家の庭から鳥が運んできたからでしょう。ジャノヒゲは葉の中から魅力的な濃青色の種をひょっこりと覗かせています。

この寒さの中で春を準備している植物は多く見ることができます。シデコブシは蕾をつけています。北側の谷筋、市道沿いに自生しています。恒例のお鍬山・豚汁食べまい会(3月22日(土))には満開となるでしょう。ショウジョウバカマは北の谷筋に自生しています。根生葉の真ん中にぽつんと蕾をつけていますが、ある日突然にショウジョウ(オランウータウン)の顔の様な花が咲きます。楽しみです。



クチナシの実



アオキの実



ショウジョウバカマの蕾